

## 三月よみとりおけいこ①（低）

### 名まえ（

三月三日はひなまつりの日ですね。ということで今日はひなまつりについて、くわしくなっていたきたいと思います。そもそも、千年くらいまえには上巳じょうしの節句せっきうとっていました。もともと一月一日・三月三日・五月五日・七月七日・九月九日は五節句ごせっきうといって、何らかのおまつりをしていたのですが、そのうちのひとつです。

紙かみで人形ひとがたを作り、息いきをふきかけて体内のけがれをうつし、川にながすなどしていたのです。今でも、奈良県ならけんの吉野よしのや鳥取県とっとりけんにはながしびながのこつています。

でも、だんだんがさないで家いえにかざられるようになりました。江戸時代えどじだいはどんどんひなだんがごうかになり、もっと小さいおひなさんにしなさいというおふれがでたりしています。

はじめはえらい人だけのものだったひなかざりは、ふつうのおうちにも広まっていききました。そして、よめ入り道具よめいりどうぐのひとつにくみこまれるようになったのです。

おだいりさまのばしですがもとは男の方がむかって右でした。むかし、右より左が上、女より男が上とするかんがえがあったからです。でもそれはまちがっているというので、天皇は皇后こうごうと並ぶときに右（むかつて左）にもならぶようになりました。今はどちらでもいいことになっていますし、地方によってもちがいます。京都では、むかしながらのならば方をするおうちが多いようです。

三人官女さんかんじょではまん中がはをくろくした年かさの人、五人ばやしはむかつて右から謡うたい（うたう人）、笛ふえ、小鼓こつづみ、大鼓おおつづみ、太鼓たいこです。楽器がっきが小さいじゅんに右からならんでいるとおぼえておくとかざりやすいですよ。

おんどくサイン→

① なんのおはなしでしょう？

（

② ひなまつりのことを千年まえはなんといいましたか？

（

③ 五節句の五月の分は今何の日になっていますか？

（

④ では、七月の分は何の日ですか？

（

⑤ 人形にんぎょうのもうひとつのよみ方をかきましよう。

（

⑥ むかし、左大臣と右大臣ではどちらが上とされたのですか？

（

⑦ 五人ばやしの中で一ばんえらいとされたのはなにをする人ですか？

（

⑧ ⑦の人のもちものはなんですか？

（

（）何もつていない（）笛（）太鼓

⑨

あっているものに○をつけましよう。

（

（）ひなかざりはむこいりの道具である。

（

（）はじめはえらい人だけがひなまつりをした。

（

（）天皇はいつも皇后のうしろにいる。

⑩

おもったことを五行でまとめましよう。

（

（

（

（

（

できればは？

